

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 05~07 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 07 の漢字テストを行います。	
② 知識プリント慣用句その1 を少しずつ進めていくこと (第2回G模試の範囲になります)。	
③ 第11回 宿題その一 [知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
④ 第11回 宿題その二 [空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第11回 宿題その三 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
⑥ 第11回 宿題その四 [( ) の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう]	
⑦ 第11回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第11回 授業で解いた設問の復習 [記述] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。)	

### 語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見ることが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



### 語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。  
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

前回の話の続きを扱いました。問二は、文中に根拠が少なく、答えにくいものだったかと思いますが、読み取ったことをもとにして考え、記述してほしい問題でした。人物関係をしっかり把握し、また、文中に見られる対比もチェックして、話の内容を把握し、心情や後の展開について考えてもらいたいところです。

知識分野の教材を配布いたしました。今回の冊子に収録の「慣用句1」は第2回G模試の出題範囲となります(他の範囲につきましては各タイトルのところに記載がございます)。また、知識分野(G模試範囲となっている分野)のテストですが、事前に国語家庭学習レポートで告知の上、新出漢字がない回の漢字確認テスト時等にあわせて行います。例えば「慣用句1」のテストは漢字テスト10の際に実施いたします。

おすすめする学習方法は以下の通りです。

「慣用句」「ことわざ」

- ①教材を読み、慣用句・ことわざの意味を覚える。
- ②例文を読んで慣用句・ことわざの使い方を覚える。
- ③意味を聞いた時に慣用句・ことわざを答えられるようにする。

「反対語」

- ①教材を読み、熟語の読みを覚える。
- ②例文を読んで、どのような意味で反対になっているのかイメージがわくようにする。
- ③〇〇の反対語は？という問いにまずは口頭で答えられるようにする。
- ④出てきた熟語を漢字で書けるようにする。

各分野の末尾に問題が載っていますので、その問題を繰り返し解いて覚えましょう。解答は最後のページにございます。